

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・ソフト事業

コード	名称
事業名	3026 電子カルテの導入
基本施策	2 身近なところで高度医療を提供する。

担当部課名	市民病院庶務課
作成者氏名	野口英敏
連絡先	24-1111

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
受診者、医師		高度でスムーズな診療と、カルテの管理が行える。
本年度事業内容	20年度導入に向け、院内IT委員会で検討を行う。	
開始年度	平成 18 年度	終了年度 平成 20 年度 根拠法令・要綱等

投入資源

		H19	H20	H21
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	8,000	250,000	240,000
	委託料	8,000		
	工事費		250,000	240,000
	その他			
合計(A+B)		11,600	253,600	243,600
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債	8,000	250,000	240,000
	受益者負担 その他特財			
一般財源	3,600	3,600	3,600	
上記①～③に関する特記事項				
平成19年度はシステム開発委託経費であり、平成20年、21年度で整備工事を				

活動指標

活動指標	単位	目標値
		平成 21 年度
システム開発委託経費 事業費 11600千円		
電子カルテ整備事業 事業費 253600千円		
電子カルテ整備事業 事業費 243600千円		

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H22目標値
電子カルテシステム構築及び稼働	電子カルテシステムを構築・稼働させることでカルテ検索・搬送時間の短縮を図り、他業務に対応する人員を確保する。		電子カルテの稼働

評価	必要性	4	紙ベースカルテの保管場所の確保や受診時のカルテ検索の時間の解消が必要である。
	有効性	4	カルテ検索時間の解消と画像データのリアルタイム化や病診連携による診療データの共有化。
	効率性	4	カルテ検索要員の削減。

総合評価

A